

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第64回 2017年2月 「いじめ対策の裏側には・・・」の巻

いじめ対策を主な業務としているメンバーからの話題提供と事例検討でした。現状や現行制度へのもどかしさややりきれなさ・色々な思いが語られる中で見えてきたことのひとつは、その「もどかしさ」や「やりきれなさ」を生み出しているものの背後にある地域や組織の歴史、痛みや不安に思いを馳せることでした。それらを抱えながら、でも何らかの手を打ちながら、とにかく突き進んできた地域や組織の“生きざま”とも言えるような在り方を思うと、葛藤を抱えながらもしがらみに向かい、“子どものために”という熱い思いを持って、いじめ対策推進の声を上げ続ける話題提供者の姿とリンクするところがあるように感じました。

「相手を理解するとは？」という心理士としての原点に立ち戻り、組織に揉まれながら臨床をやっていくことの深みと重みに、どっぷりと身を浸した時間でした。

記録： さかも (臨床心理士)

日時： 2017年2月12日(日) 10:00～12:00
場所： 茨木市福祉文化会館（オークシアター）
参加者： 6名 (大阪府、熊本県 SC・教育分野 CP)

内容：

前半：参加者から話題提供

テーマ：“子どものための” いじめ対策であるために

後半：心理アセスメントの練習

事例：いじめ事案を機にかかわった生徒と学校の事例

次回開催予定：2017年3月5日(日) 10:00～12:00

茨木市立男女共生センター（ローズワム）

テーマ：『障害者差別解消法』施行における焦り・迷いについて